

## MGPT説明・同意モデル文書

臨床における多遺伝子パネル検査（MGPT）の  
説明・同意書のモデル文書を作成いたしました。  
それぞれの施設で、必要に応じてご利用ください。



※本説明・同意書は、臨床において自費でMGPTを実施する場合を想定して作成しております。  
※本モデル文書を使用するにあたり、各ご施設で内容を確認、修正のうえ、各御施設の責任において使用してください。  
※記載している内容は一般的な内容であり、全ての施設にそのまま適用できるものではないことをご了承の上、ご利用ください。

ダウンロードしてご利用ください

PDF版

WORD版



## 遺伝性腫瘍を診断する方法

遺伝性腫瘍は、あなたが生まれもった遺伝子を調べる検査により、確定診断を行います。

生まれもった遺伝子の特徴を調べる検査のことを、遺伝学的検査（いでんがくてきけんさ）と呼びます。

多くの場合は、血液を用いて検査を行います。



※ただし、現在の医学・技術の限界により、遺伝学的検査をおこなっても診断がはっきりしない場合があります。

※遺伝学的検査の結果を解釈する場合、本人の症状や血縁者の情報を参考にすることがあります。

※疾患によっては、症状や体の特徴から、遺伝学的検査を行う前に診断が推定されるものもあります。

## VUSの結果を受け取られた方へ

遺伝子の検査の後、  
VUS (Variant of Uncertain Significance) という結果を受け取られ、  
「難しいな」「どういう意味だろう」「これからどうしたらいいだろう」などと感じられた方がいるかもしれません。



VUSとは、今回調べた遺伝子に、何らかのパリアントが認められましたが、この変化が遺伝性腫瘍と関連するかどうかは、現時点の医学では判断できない結果のことです。

今後のあなたの健康の管理方法については、あなたの既往歴や家族歴に応じて、担当医と検討することになります。

※医学の進歩により、将来、遺伝性腫瘍と関連するかどうか、判断できるようになる可能性があります。



※結果の解釈が変更になった場合に備えて、あなたの連絡先が変わる場合は、検査を受けた医療機関へ届けておきましょう。

※医療機関によっては、VUSの解釈の変更について、ご自身から問い合わせが必要な場合があります。医療機関へ確認しておきましょう。

連絡先が  
変わりました！

